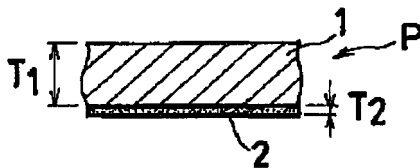
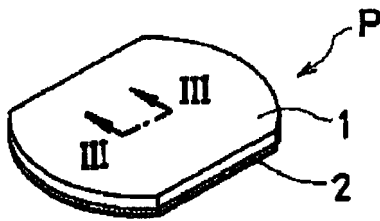
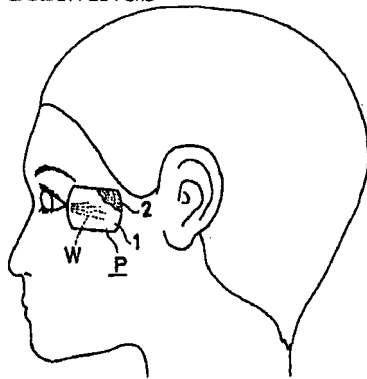

CLAIMS

[Utility model registration claim]

[Claim 1] The pad for facial treatment equipped with the body of a pad of the necessary thickness it is thin into a part with a wrinkling from the ingredient which is the pad stuck where a wrinkling is lengthened, has the flexibility which can meet boom hoisting of the face, and can moreover resist the restoring force of a wrinkling after it applies face toilet to the face and this dries, and the binder layer prepared in one side of the body of a pad.

[Claim 2] The pad for facial treatment according to claim 1 whose body of a pad is polyethylene foam 7 to 13 times the expansion ratio of this in 1.2-1.5mm in thickness.

DRAWINGS



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3024084号

(45) 発行日 平成8年(1996)5月17日

(24) 登録日 平成8年(1996)2月28日

(51) Int.Cl.⁶

A 4 5 D 44/22

識別記号

B

片内整理番号

P I

技術表示箇所

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願平7-11345

(22) 出願日 平成7年(1995)10月25日

(73) 実用新案権者 595151578

上村 浩子

大阪市西区阿波座2丁目2番22号

(72) 考案者 上村 浩子

大阪市西区阿波座2丁目2番22号

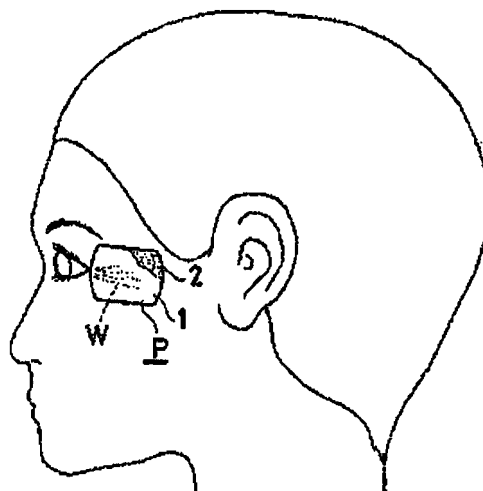
(74) 代理人 弁理士 岸本 義之助 (外3名)

(54) 【考案の名称】 美顔用パッド

(57) 【要約】

【課題】 顔のしわのある部分の皮膚にはりをもたせ、しわが目立たないようにするのに役立つ美顔用パッドを提供する。

【解決手段】 顔面に化粧水を塗布しこれが乾燥した直後、しわWのある部分に、しわWをのばした状態で貼り付ける美顔用パッドPであって、顔面の起伏にそいする可撓性を有し、しかもしわの復原力に抗しうる発泡倍率10倍の発泡ポリエチレンからなる厚さ1.3mmのパッド本体1と、パッド本体1の片面に設けられた粘着剤層2とを備えている。



(2)

実登3024084

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 顔面に化粧水を塗布しこれが乾燥した後、しわのある部分に、しわをのばした状態で貼り付けるパッドであって、顔面の起伏にそいうる可撓性を有し、しかもしわの復原力に抗しうる材料からなる所要厚さのパッド本体と、パッド本体の片面に設けられた粘着剤層とを備えている美顔用パッド。

【請求項2】 パッド本体が、厚さ1.2～1.5mmで発泡倍率7～13倍の発泡ポリエチレンである請求項1記載の美顔用パッド。

*【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案による美顔用パッドを顔のしわのある部分に貼り付けた状態を示す一部切欠正面図である。

【図2】 図1の美顔用パッドのみの拡大斜視図である。

【図3】 図2のIII - III 線にそう拡大断面図である。

【符号の説明】

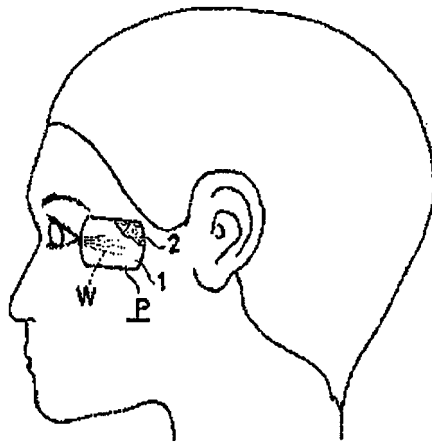
P：パッド

W：しわ

(1)：パッド本体

*10 (2)：粘着剤層

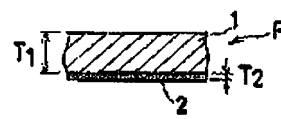
【図1】



【図2】



【図3】



(3)

実登3024084

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は、美顔用パッドに関する。

【0002】

【考案が解決しようとする課題】

いつまでも美しくありたいと、女性なら誰しも願うことであるが、年齢を重ねるにつれ、はりのあるみずみずしい皮膚も老化してしわが生じる。とくに目尻にしわが生じると、顔の美しさを著しく損ねる。

この考案の目的は、顔のしわのある部分の皮膚にはりをもたせ、しわが目立たないようにするのに役立つ従来にない新規な美顔用パッドを提供するにある。

【0003】

【課題を解決するための手段】

この考案による美顔用パッドは、顔面に化粧水を塗布しこれが乾燥した後、しわのある部分に、しわをのばした状態で貼り付けるパッドであって、顔面の起伏にそいする可撓性を有し、しかもしわの復原力に抗しうる材料からなる所要厚さのパッド本体と、パッド本体の片面に設けられた粘着剤層とを備えているものである。

【0004】

上記パッド本体は、厚さ1.2～1.5mmで発泡倍率7～13倍の発泡ポリエチレンであることが好ましい。

発泡ポリエチレン製パッド本体の厚さが1.2mm未満では、しわの復原力に充分抗し得ず、1.5mmを超えると、顔面の起伏にそいにくい。

粘着剤層の厚さは、20～30 μ mが好ましい。

パッドの形状は、方形でもよいが、取り扱いの便宜上、小判状に形成せられたものがよく、その大きさは、長さ18～23mm、幅10～15mm程度がよい。

【0005】

顔面に塗布せられる化粧水としては、コンドロイチン硫酸ソーダおよびグリチ

(4)

実登3024084

ルリチン酸2カリウムを主成分とし、グリセリンまたはプロピレングリコールなどの潤滑剤を添加したものが用いられる。コンドロイチン硫酸ソーダは、皮膚細胞を活性化させ、グリチルリチン酸2カリウムは、皮膚に適度な緊張と潤いを与える。

【0006】

【考案の実施の形態】

図2および図3に示す美顔用パッド(P)は、発泡倍率10倍の発泡ポリエチレンからなる長さ20mm、幅12mmの小判状パッド本体(1)と、パッド本体(1)の下面に形成せられた粘着剤層(2)を備えている。

【0007】

パッド(P)は、就寝前に、顔面に上記化粧水を塗布しこれが乾燥した直後、図1に示すように、しわ(W)のある目尻部分に、しわ(W)をのばした状態で一気に貼り付けられる。

【0008】

図1には、1つのパッド(P)をその長手方向を水平にして顔面に貼りつけた状態が示されているが、しわ(W)がパッド(P)からはみ出す場合は、2つのパッド(P)をその長手方向を垂直にし、並べて顔面に貼り付けてもよい。

【0009】

パッド本体(1)の厚さ(T1)は、1.3mmである。この厚さとパッド本体(1)が発泡ポリエチレン製であることにより、パッド(P)は、顔面の起伏にそって密着する。なお、粘着剤層(2)の厚さは、25 μ mである。

起床すると、顔面よりパッド(P)を剥がして洗顔すると、化粧水は水に溶けるので、顔面よりこれを洗い流すことができる。粘着剤がすが顔面に付着しているさいは、パッドの粘着剤層側で拭くときれいに落とせる。

なお、美顔用パッド(P)を、若い頃、顔にしわが生じるような箇所に用いれば、しわ発生の予防にもなる。

【0010】

【考案の効果】

この考案によれば、就寝中パッドによりしわがのばされた状態に保たれるとと

(5)

実登3024084

もに、パッドで顔面に保持された化粧水主成分が皮膚に浸透するので、しわのある部分の皮膚にはりが生じ、しわが目立たなくなる。したがって、顔を美しく保つことができる。